

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2018年3月29日

報告書名（資金）：平成30年度 完了報告書（JPF）

平成30年度 JPF 完了報告書

事業名	ナンガハル県帰還民への緊急越冬支援物資配布 Emergency Winterization Assistance for the Returnees in Nangarhar	
事業対象地	アフガニスタン ナンガハル県	
事業期間	2017年12月30日～2018年3月29日	
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム	
総支出・返還金	総支出：28,087,933円（返還額：1,755,703円）	
事業の成果 （概要）	ナンガハル県の非登録帰還難民550世帯、ホストコミュニティ60世帯、合計610世帯、約4,270名に越冬支援物資を配布した。	
成果の達成度	<p>ナンガハル県 Behsood 郡、Kama 郡、Haska Mina 郡に居住している、DoRR から提供された非登録帰還民のリストの世帯を調査し、非登録帰還難民 550 世帯、ホストコミュニティ 60 世帯、合計 610 世帯、約 4,270 名に 1 世帯あたり、クラスターで調整された越冬支援パッケージ（毛布 6 枚、プラスチックシート 2 枚、プラスチックバケツ 2 個、家庭用ガス 1 本、女性用ショール 2 枚、男性用スカーフ 2 枚、子ども用セーター 2 着、配布用キットバック 1 個）を配布した。また、子どもを 6 人以上抱える 70 世帯に対し、追加支援として越冬支援パッケージのうち衣類一式を追加配布した。</p> <p>インタビュー調査の結果、対象世帯の 100% が配布物資を売らずに使用していた。また、調査した世帯の 99% が配布物資の内容に「満足している」と回答した。一部の肯定的な回答の中には「数が足りない」といった回答があった。</p>	<p>裨益者 ナンガハル県 Behsood 郡、Kama 郡、Haska Mina 郡の地域に居住している非登録帰還難民 550 世帯、ホストコミュニティ 60 世帯、合計 610 世帯、約 4,270 名。</p>
教訓・提言	教訓としては、新しいモニタリング手法を導入したため、従来の個別訪問との差異をつける必要がある。次に、クラスターで設定されている世帯構成人数が実態と異なるため、支援対象者の分析方法を改めて検討する必要がある。最後に、追加配布は効果的であるため、柔軟な対応が行えるよう計画時から組み入れることである。	